

こうししょう 「光視症」について(その2)



こんにちは。花沢アイクリニック院長の梅津由子です。

5月になり、スギ花粉症も一段落し、いい季節になりました。桜は散ってしまいましたが、次々といろいろな花が咲き、新緑の芽生えとともに目を楽しませてくれます。

さて、今回は光視症についての2回目です。

前は、後部硝子体はく離（硝子体の加齢性変化により、硝子体が網膜からはく離する現象）

に伴う網膜牽引による末梢性光視症についてお話ししました。後部硝子体はく離自体は、心配なものではありませんが、これに伴い網膜裂孔や網膜剥離が生じることがあります。網膜裂孔・網膜剥離では緊急の治療を要しますので、光視症と飛蚊症を同時に自覚したら、まずは早めに眼底検査を受けていただくと安心です。



飛蚊症



光視症

頭の中に原因のある、中枢性光視症で最も多いのが閃輝暗点です。ギザギザとした歯車状の光が視野の右か左に見え始め、次第に拡大、10~30分程で消失します。ギザギザの光の内部は曇っていて見えません。典型例では閃輝暗点が消失すると、閃輝暗点が出現した視野の反対側に拍動性頭痛（片頭痛）が起こります。頭の中の血管攣縮（血管が縮こまる）が閃輝暗点の発症に関係しているようです。縮こまった血管がその後拡張し、片頭痛が起こると考えられています。

中枢性光視症を訴える患者さんの中には、頭の中に病気がある方もおられます。光視症がどちらの眼に生じたかの判別がつかなかったり、閃輝暗点の発生頻度が増えてきたりした方は、診察を受けられることをお勧めします。

光視症には、早急な治療を要する場合があります。症状がおありの方は、早めにご相談ください。



目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、
目の健康に関する情報や、
耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



お子様のメガネ購入時のポイント

前回、学校検診についてお話ししましたが、今回はお子様が視力低下を指摘され、眼鏡を作成する際に
知っておきたいポイントをご紹介します。

★お子様の顔に合ったサイズの『子供用フレーム』を選びましょう。

最近では大人用のメガネに、小さいデザインのものもあり、子供でもかけられそうなメガネがあります。子供は目と目の距離が短いわりには頭や顔の幅が大きかったり、耳の高さに左右差があったりします。また、子供の鼻はそれほど高くないので、鼻パットの大きさや形が合っていないとメガネがずれる原因になります。



購入時に鼻の部分がフィットしているかどうか、テンプルは耳までの長さ・耳の形状に合っているかどうか、目に対しレンズの位置が合っているかどうかなど、よくチェックすることが大切です。目の位置とレンズの位置が合っていないために、せっかく眼鏡をかけているのに、見えにくい状態になっていたりすることが多く見うけられます。お子様が興味をもってかけられるようなファッション性の高い「かっこいい」「かわいい」フレームを選ぶことも重要ですが、その子の特徴に合った、よいフィットングのフレームを選びましょう。

★アフターケアのしっかりしたお店を選びましょう。

子供は動きが活発なため、大人が予想もしないような激しい動きや取り扱いをすることがあります。そのため、メガネの正しい位置がずれたり、耳や鼻が痛くなったりすることがあります。いつでも気軽に歪みを直してくれたり、フィットング状態をチェックしてくれたりする身近な眼鏡店で購入することをお勧めします。

★定期検査を受けましょう。

眼鏡は使用していると、フレームのパーツが緩んだり、ゆがんだりします。また視力も変わってきます。お子様が自分から「見えにくい」と訴えることもあまりありません。見えないのに目を細めるなど無理をしていると、目が疲れやすく授業に集中できなくなります。特に異常を感じなくても眼科や購入した眼鏡店でメガネの定期点検することをお勧めします。

編集後記

学校検診の再検査のために受診されるお子様が増えてきます。混雑状況によっては、普段よりも待ち時間が長くなることが予想されますので、定期的に通院されている方は、次回予約をおすすめします。電話でも予約できますので、ぜひご活用下さい！

ビビ・プッチ・まめちよ

真実はいつもひとつ！
目玉いきいきライフ！

